

読者の声

☆中国・撫順元戦犯管理所の朝顔を咲かせ続けましょう

大阪府大阪市 野崎朋子

私は、「撫順の奇蹟を受け継ぐ会」会員として2007年に中国・撫順を訪れた際、元戦犯管理所で朝顔の種を取ってきて、拙宅のベランダで2008年から育てています。元戦犯で帰国する時に職員に種を渡され、九州ですつと育てている方もいます。私が種を送り、2011年は立命館宇治中学、昨年は長崎県対馬でたくさん咲かせてくれました。毎年、新しい貰い手を探すのが一苦勞なのですが、この朝顔の由来に感銘を受けた私としては、努力するしかありません。というわけで、「市民の意見」の関係者の皆様の中で、種をもらってくださる方はおられませんでしょうか。蒔くのは、最低気温が10度を超える頃、東京や大阪では4月末から5月いっぱいです。6月上旬でも間に合います。
*編集部より：ご希望の方は、種の粒数を明記のうえ、返信用封筒に80円切手を貼り、4月15日締め切りで事務局・有馬宛にお申込みください。

☆もつと意見広告を広げよう

東京都杉並区 道津弘二

改憲の力が大きくなってきている今、この流れ

を変えざるを得ない。もつと声を集め、市民意見広告を広げよう。

☆自民政憲案の問題点をパンフに

東京都日野市 宗近弘武

自民政憲案の具体的な問題点の指摘が早くから必要では。中北龍太郎氏のご指摘の問題点の、分かりやすいパンフレット化など。

編集部注：中北龍太郎「市民の世論で改憲をとめよう」〔市民の意見〕136号掲載

☆シングルイシューで良いのか

大阪府高槻市 三上弘志

年末の選挙では、全く異なる（正反対の場合も）立場から民主党批判の大合唱が起これ、ファナティックとも見える勢いで、全否定の波が前政権をつぶしました。それなりに前進した面も評価せず、為にする反対の構図（ねじれを武器に）をおおいかくした「成果」。政治選択の場では、シングルイシューだけで判断する姿勢を改めなくてはならないとつくづく思っています。

☆子の生命を守ろう

東京都杉並区 川浪寿見子

都知事選の大差で、市民運動、勝手連の限界を思い知りました。6ヵ月後の参院選、負ける訳にはいかないのにどう戦うのか、誰か教えて！ ファシズムと放射能、目に見えない恐怖からなんとしても子の生命、未来を守らなければ。

☆憲法を守ろう

神奈川県逗子市 白水敬子

昭和5年1月17日生まれ。自民、民主、どちらになっても憲法が危ない世の中です。なんとか守りたいです。

☆戦争で奪われた命を想う

北海道函館市 俵 浩治

7年前の秋、念願の無言館を訪れました。戦争で命を奪われた若い面学生たちの、家族や故郷への想いをあらためて感じる旅でした。歴史から学ぼうとせず、「国防軍」などと声高に唱える人間への不信、怒りを感じる年の暮れです。

編集部注：昨年12月末に頂いたおたよりです。

☆国防軍案、反対

千葉県長生郡 石井玲子

自民党の国防軍案に大反対です。強い日本を目指せば、又戦争になります。

☆阻止せよ、憲法改正

東京都分寺市 江波戸 敬

後期高齢で体力も落ちましたが、未来のためにも憲法改正を阻止しなければなりません。

☆よりよい世の中を常に願う

埼玉県戸田市 田中美秋

81歳を過ぎまして気力、体力が落ち、なかなか協力出来ませんが、世の中がよく成るようには常に願っております。どうか宜しくお

願ひ申し上げます。

☆マスメディアは警鐘を鳴らせ

千葉県松戸市 青木和子
まだ大丈夫！ と思つているうちに……絵本『茶色の朝』（注）が現実にならないように、小さな声でもあげ続けなければいけないと思つています。どうして、マスメディアは大音量で警鐘を鳴らすことをしないでいられるのでしょうか？ 大事な場面で仕事の自分を尽くして頂きたいものです。

編集部注…フランク・パブロフ著、ヴィンセント・ギャロの絵による絵本。茶色はナチスの初期の制服の色。日本版は大月書店より刊行。

☆戦争と原発の廃絶を

加古川市 西山敏和
133号を拝見しました。戦争廃絶と原発廃絶は、人間の生存上の問題です。

☆表現が適当でない

東京都中野区 太田 収
135号浅井先生「中国側の逆鱗に触れた」の表現は中国を上、日本を下に見たように感じた。適当でないと思う。

☆強い国はまっぴら

愛知県新城市 丸山俊治
「日本はやさしい国」であつてほしいなあ。「強い国」などまっぴらごめんです。

☆負けても負けない

熊本県熊本市 松本清子
上を向こう、見よう！
負けても、負けないぞ！！

☆87歳です。運動がんばれ

埼玉県秩父市 井上良一
いつも大変だなと思つて運動を拝見しています。これからもがんばつて下さい。1926（大正15）年3月3日生まれ。終戦時軍隊へ出征す。

☆九条を守り、原発をやめろ

愛知県名古屋市長 山下智恵子
いつもありがとうございます。九条を死守しましょう。原発もやめて、他のエネルギーで暮らしましょう。

☆犠牲の上に成る原発

愛知県刈谷市長 境 昭英
一日も早い原発の全廃を願います。一旦、事故が起これば、取り返しのつかない被害と大変な負担が残る原発。どうして経済的と言えるのでしょうか。そのうえ、犠牲の上に成り立つ原発。

「読者のおたより」の多くは、会費納入の際の郵便振替票に書かれているメッセージを使わせていただいています。掲載について匿名をご希望の方は、その旨明記していただくと幸いです。残念ながら全てを掲載することはできませんが、多くのおたよりを今後ともお待ちしております。

136号の記事補足

〈運動の現場から〉加藤一夫氏「焼津流平和の作り方」の記事に関連して。正確を期するため若干の補足をいたします。

p 21 上段18行目

（署名活動が）「またたくまに全国に、そして世界に広まり、翌年、広島で原水爆禁止世界大会を実現させた。」

日本における原水爆禁止署名運動の進展と並行しながらも、世界的な運動として広まったものは、世界平和評議会が1955年1月によびかけをおこなった「ウィーン・アピール」署名です。同アピールは、《原子戦争の準備反対および原子兵器の破棄と製造の即時停止》を要求したもので、世界で約7億（日本では約200万）の署名が集まりました。

p 21 中段4～5行目

「1964年の3・1ビキニデーで原水協と原水禁が衝突し」

この年の3・1ビキニデーで分裂が決定的になりましたが、原水協（原水爆禁止日本協議会・共産党・一部中立系）から分かれた社会党・総評系の諸団体が、新たに原水禁（原水爆禁止日本国民会議）を結成したのは、1965年のことでした。

（編集部）